

## MUS工法ドッグバイトアンカー6.0mm

施 工 手 順	施 工 内 容	使 用 機 材 材 料
⑥ ピンの開脚	専用の打込棒でピン内部のロックピンを所定の位置まで打ち込み、開脚する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ハンマー</li> <li>●ドッグバイトアンカー専用打込棒</li> </ul>
⑦ 注入用エポキシ樹脂の計量・混合	主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、十分に混練する。 計量は、可使用時間内に使い切る量とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●はかり 混練容器 混練具等</li> <li>●エポキシ樹脂 (JIS A 6024)</li> </ul>
⑧ エポキシ樹脂の注入	グリスポンプに専用ノズルを装着して、アンカーピンの注入口から適切な圧力を保ち徐々に注入する。 タイル目地部分からの注入材の漏れ、タイル共浮きの発生、タイルの割れが発生した場合は、注入を中止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グリスポンプ等</li> <li>●エポキシ樹脂</li> </ul>
⑨ 仕 上 げ	注入箇所のアンカーピンにタイルと近似色で焼付けた真鍮製の化粧キャップを取付け、仕上げを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●化粧キャップ KF-9.0</li> <li>●プラスチックハンマー</li> </ul>
⑩ 養 生	エポキシ樹脂注入後(夏期15時間、冬期24時間以上)衝撃を与えないようにし、また雨水等からも養生する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防護具等</li> </ul>
⑪ 簡 易 清 掃	施工周辺部に付着した汚れは、簡易清掃する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ウエス等</li> </ul>
⑫ 自 主 検 査	テストハンマー等で打診して注入状態を確認するとともに、あとかたづけを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テストハンマー 目視</li> </ul>

